

2024年11月

# ITmedia DX Summit Vol.22

～勝負の年のIT戦略、どう変えるか、何を残すか～



開催日時：2024年11月18日(月)～11月22日(金)

申込締切：2024年9月13日(金)



概要

なぜデータを正確に、素早く、適切な人に提供するのが難しいのか  
データ管理の方法論

データ活用基盤の最終到達地点として、求められたデータを必要とされたタイミングで適切な人に提供できることが挙げられます。しかし実際には欲しいデータがどこにあるか分からず、もどかしい思いをすることも多いでしょう。

あらゆる場所で日々大量に生まれるデータの保存場所や内容、権限設定を正確かつ迅速に把握するのは可能なのでしょうか。本セッションでは現実的な視点から、データのライフサイクル全体を適切にマネジメントするためのコツを見ていきます。

キーワード

# データマネジメント (コンサルティングサービス)

# データ分析基盤 (データウェアハウス、データレイクなど)

# データカタログ

# データファブリック

# データパイプライン、ETL (Extract、Transform、Load)

# DMP (データマネジメントプラットフォーム)

# データ仮想化

# データガバナンス

# データ活用支援

視聴者の抱える課題

- データ活用基盤の整備や移行をしている
- データマネジメントに苦心している
- 欲しいデータを見つけられない
- ガバナンス要求を満たすのに苦心している

## | 概要

**刷新か？延命か？ 失敗が許されない基幹システムモダナイズの分岐点**

基幹システムの刷新・移行における障害が頻繁に話題になっている。  
基幹システムは企業活動の根幹を担うため、刷新・移行の失敗による影響は計りしれない。  
しかし、多くの企業が採用している基幹システム「SAP ECC6.0」の保守期限は2027年に迫り、刷新を避けることは難しい。また、長年使い続けた基幹システムがレガシーシステム化して属人化や管理コストの圧迫といった問題を引き起こし、移行を検討している企業は多いだろう。  
失敗が許されない基幹システムの刷新・移行を、成功に導くヒントを探る。

## | キーワード

# ERP導入・移行

# S/4HANA

# クラウドERP

# 第三者保守

# プロジェクトマネジメント

# プロセスマイニング

# 業務プロセス標準化

# ERP導入コンサルティングサービス

## | 視聴者の抱える課題

- SAP ECC6.0の保守期限が迫り、移行を検討している
- 他社で起きたような移行トラブルを避けるため、安心・安全な移行方法を探している
- レガシーな基幹システムが属人化や管理コストの圧迫といった問題を引き起こし、移行が急がれている

## | 概要

## IT部門が今知るべき「AIと業務自動化で何がどこまでできるのか」

生成AIを導入してみたものの、思ったほど効果が上がらないことに悩む企業が多いのは、個別の業務の自動化にとどまっているからではないでしょうか。そこで、このセクションでは、全社で生産性を向上させるためのAIを利用した業務自動化の在り方を探ります。AIを利用した業務自動化によって現在、何がどこまでできるのか。一つの作業だけでなく、業務プロセス全体を自動化するために何をすべきか。「もっともらしい嘘をつく」などAIを利用する上での課題の解決法だけでなく、将来何ができるのかを提示することで、IT担当者が主導して、全体最適のAI活用を実現するための方策を明らかにします。

## | キーワード

# 自動化プラットフォーム

# iPaaS

# ハイパーオートメーション

# RPA

# ワークフロー自動化

# AI導入支援

## | 視聴者の抱える課題

- チャットbotを実装したものの、「狙った回答が得られない」「社内問い合わせに人間が対応する件数が減らない」という悩み
- 経営層から「生成AIを導入せよ」と言われているが、利用目的がいまいち定まらず、足踏み状態が続いている
- 近い将来に何ができるようになるのかを知り、「逆算」で今何をすべきか知りたい
- ハルシネーションへの懸念が強く、生成AIの導入に至らない
- 生成AIが生成したアウトプットが正しいかどうかの精査に時間がかかりすぎる
- 人手不足感が強く、AIに「人間の代わり」をさせるための方策を知りたい

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

概要

テーマ1.データ/AI活用による経営の高度化  
 テーマ2. 既存情報システムの見直し/刷新

日本企業の経営層は、これまでも環境の変化やビジネスの不確実性、複雑さ、そしてあいまいさといった、いわゆる「VUCA」に直面し、頭を悩ませてきましたが、3年に及んだコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻はその先行きの不透明さにいっそうの拍車を掛けています。

もはや過去の延長線上では乗り切れないでしょう。企業が持続的な成長を実現していく切り札がデジタルテクノロジーであることは間違いありません。釈迦に説法ですが、DXとは、デジタルテクノロジーで顧客への提供価値を別次元へと高め、必要であればビジネスモデル全体を変革する取り組みです。企業で情報システムを統括している**エグゼクティブ層**は、その取り組みを**牽引する主導的な立場**にあります。**大胆かつ不断の変革の牽引役**として期待され、情報システム、プロセス、そして組織の整備と人材育成を**戦略的に推進**していくことが求められています。

キーワード

- # ERP
- # データ活用基盤のソリューション
- # DWH
- # DMP
- # コンサルティングサービス

視聴者の抱える課題

- 戦略策定の上でどのようなデータをどう活用すればよいのかを知りたい
- 自社の強みになるデータを再整備をしたい
- データを活用して柔軟に戦略を組み替える体制を構築したい

## | 概要

## メインフレームが誕生60年 モダナイズの最適解を探す

メインフレームは長く企業情報システムを支えてきたすぐれたシステムですが、老朽化や運用の属人化やコスト負担の重さ、モダンなIT環境への対応に工数がかかるなどの課題があります。

運用を効率化し、よりモダンなIT環境を目指すに当たり、

いまあるメインフレームシステムをどう変えていけばよいのでしょうか。

最近では技術が進歩し、プログラムを切り替えたりクラウドに移植したりといった作業が、

従来よりも格段に効率よく実行できるようになりました。

本セッションではメインフレームモダナイズを推進するに当たり、現在知っておくべき技術情報をお伝えします。

## | キーワード

# メインフレーム

# メインフレームモダナイズ

# AWS Mainframe Modernization

# COBOLプログラム変換

# テストツール

# ETL (メインフレームデータ連携)

# API開発ツールベンダー (メインフレームデータ連携)

## | 視聴者の抱える課題

- メインフレームの抱える課題を解決し、モダナイズをしたいと考えている
- 既存のメインフレームを生かしたモダナイズをしたいが、こういった方法で進めたらよいのかが分からない

## | 概要

## VMwareユーザーのための次のITインフラ戦略を考える

長く日本企業のハイブリッドクラウドを支えてきたVMwareが  
そのプロダクトの方向性を変えつつあります。

このことは「仮想化集約によるインフラの効率化」が一定の役割を  
終えつつあることを示していると言ってもよいでしょう。

では今後もハイブリッドクラウドを維持する企業にとって、今最適なIT基盤は何でしょうか。

現在の構成を継続すべきか、他の仮想化基盤を検討すべきかは悩ましいところです。

本セッションはVMwareプラットフォームユーザーが目指すべき次のITインフラ戦略の指針を見ていきます。

## | キーワード

# HCI (Nutanixなど)

# IaaS (AWS, Azureなど)

# IaaS構築ツール (OpenStackなど)

# ストレージ

# VMwareシステム移行ツール

## | 視聴者の抱える課題

- VMwareをベースとしたハイブリッドクラウド環境のコスト負担を削減したい
- 今後のリスクを考慮して他のハイブリッドクラウド環境を模索したい
- 仮想化基盤を切り替えたい



# タイムテーブル

- ▼各セッション枠時間
- ・基調講演：40分
  - ・スポンサーセッション：30分

	11月18日 (月) 1.データ基盤	11月19日 (火) 2.どうする基幹業務システム	11月20日 (水) 3. AI×業務自動化	11月21日 (木) 4.エグゼクティブ層向けDX	11月22日 (金) 5.メインフレームモダナイズ	
13:00-13:40	<b>基調講演1</b>	<b>基調講演2</b>	<b>基調講演3</b>	<b>基調講演4</b>	13:00-13:40 <b>基調講演5</b>	
13:50-14:20	スポンサーセッション 1-1	スポンサーセッション 2-1	スポンサーセッション 3-1	スポンサーセッション 4-1	13:50-14:20 スポンサーセッション 5-1	
14:30-15:00	スポンサーセッション 1-2	スポンサーセッション 2-2	スポンサーセッション 3-2	スポンサーセッション 4-2	14:30-15:00 スポンサーセッション 5-2	
15:10-15:40	スポンサーセッション 1-3	スポンサーセッション 2-3	スポンサーセッション 3-3	スポンサーセッション 4-3	6.脱VMware時代のIT基盤投資	
15:50-16:20	スポンサーセッション 1-4	スポンサーセッション 2-4	スポンサーセッション 3-4	スポンサーセッション 4-4	15:10-15:50 <b>基調講演6</b>	
16:30-17:00	スポンサーセッション 1-5	スポンサーセッション 2-5	スポンサーセッション 3-5	スポンサーセッション 4-5	16:00-16:30 スポンサーセッション 6-1	
					16:40-17:10 スポンサーセッション 6-2	

**【ご留意事項】**

- ・ スポンサーセッションが3社未満の場合は、タイムテーブル（開催日やセッション順）の調整、集客人数が変更になる場合がございます。
- ・ **ご協賛状況に応じて、開催日程を含めたタイムテーブルが変更になる可能性があります。**

# ご協賛メニュー – ゾーン1 ~ ゾーン3 –

ゾーン1：データ基盤
ゾーン2：どうする基幹業務システム
ゾーン3：AI×業務自動化
ゾーン4：エグゼクティブ層向けDX
ゾーン5：メインフレームモダナイズ
ゾーン6：脱VMware時代のIT基盤投資

	プラチナプラン	ゴールドプラン	全リストプラン	セクションリストプラン
スポンサーセッション Live配信+アーカイブ	●	-	-	-
全申込者リスト(800名想定)	●	-	●	-
協賛セクション申込者リスト (350名想定)	●	● (上限450名)	-	● (上限450名)
スポンサーアンケート	●	-	-	-
自セッション視聴者データ・ レポートサイト	●	-	-	-
事前アンケート結果	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●
資料配布	●	-	-	-
開催報告書	●	●	●	●
料金 (税別・グロス価格)	¥4,000,000-	¥2,800,000-	¥2,200,000-	¥1,800,000-

【備考】 ※申込者数は想定値となります。

※セミナー全体のセッションスポンサー数が3社未満の場合、開催日、開催テーマの縮小をいたします。

その場合、イベント規模縮小に伴い全申込者数が減少する場合がございます。

※各セクションのセッションスポンサー数が3社未満の場合、セクション申込者数が減少する場合がございます。

# ご協賛メニュー – ゾーン4 エグゼクティブ層向けDX –

ゾーン1：データ基盤
ゾーン2：どうする基幹業務システム
ゾーン3：AI×業務自動化
<b>ゾーン4：エグゼクティブ層向けDX</b>
ゾーン5：メインフレームモダナイズ
ゾーン6：脱VMware時代のIT基盤投資

	＼1社限定！／ ゴールド+プラン	プラチナプラン	ゴールドプラン	全リストプラン	セクションリスト プラン
スポンサーセッション Live配信+アーカイブ	●	●	-	-	-
Executive session	● (ITmedia エグゼクティブ編集部がゲスト講師 をアサイン。スポンサーセッション 時間内での対談企画をコーディネート！)	-	-	-	-
全申込者リスト (800名想定)	-	●	-	●	-
協賛セクション申込者リスト (200名想定)	●	●	●	-	●
スポンサーアンケート	●	●	-	-	-
自セッション視聴者データ・ レポートサイト	●	●	-	-	-
事前アンケート結果	●	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●	●
資料配布	●	●	-	-	-
開催報告書	●	●	●	●	●
料金 (税別・グロス価格)	¥3,300,000-	¥4,000,000-	¥2,300,000-	¥2,200,000-	¥1,500,000-

【備考】 ※p.10の備考欄をご確認ください。

※ゴールド+プランの詳細については営業担当にお問い合わせください。

# ご協賛メニュー – ゾーン5, ゾーン6 –

ゾーン1：データ基盤
ゾーン2：どうする基幹業務システム
ゾーン3：AI×業務自動化
ゾーン4：エグゼクティブ層向けDX
ゾーン5：メインフレームモダナイズ
ゾーン6：脱VMware時代のIT基盤投資

	プラチナプラン	ゴールドプラン	全リストプラン	セクションリストプラン
スポンサーセッション Live配信+アーカイブ	●	-	-	-
全申込者リスト (800名想定)	●	-	●	-
協賛セクション申込者リスト (150名想定)	-	● (上限250名)	-	● (上限250名)
スポンサーアンケート	●	-	-	-
自セッション視聴者データ・ レポートサイト	●	-	-	-
事前アンケート結果	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●
資料配布	●	-	-	-
開催報告書	●	●	●	●
料金 (税別・グロス価格)	¥4,000,000-	¥2,300,000-	¥2,200,000-	¥1,500,000-

【備考】 ※申込者数は想定値となります。

※セミナー全体のセッションスポンサー数が3社未満の場合、開催日、開催テーマの縮小をいたします。

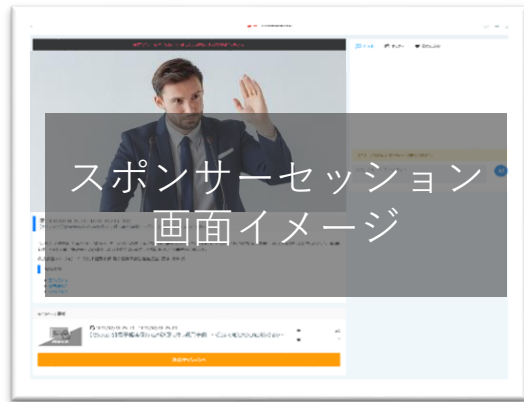
その場合、イベント規模縮小に伴い全申込者数が減少する場合がございます。

※各セクションのセッションスポンサー数が3社未満の場合、セクション申込者数が減少する場合がございます。

# ご協賛メニュー詳細

## | スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできる  
スポンサーセッション枠を  
ご利用可能



## | 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全  
申込者の名刺情報のリストを  
ご提供
- ご提供情報：  
名前・会社名・部署・役職・  
住所・電話番号・  
メールアドレス・業種・  
職種・役職クラス・年商規  
模・従業員規模・関与など
- イベント終了後3~5営業日以  
内にExcelデータ形式にて納品

## | セクション申込者リスト

- 協賛セクション申込者の  
名刺情報のリストをご提供
  - ご提供情報：  
名前・会社名・部署・役職・  
住所・電話番号・  
メールアドレス・業種・  
職種・役職クラス・年商規  
模・従業員規模・関与など
- ※事前申込時に該当セクションを視聴希望  
としてチェックしている人(任意/申込時1カ  
所以上の視聴希望必須)のリストが納品対象  
です。

## | セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に  
独自のアンケートを実施
- 単一回答・複数回答・自由回答  
の3種類を組み合わせて自由に  
設定可能
- アンケートボタンを押すと、  
ポップアップで表示

## | 視聴者データ・レポートサイト

- セッションのレポートサイトを  
ご提供
  - ご提供情報：  
会社名・部署名・役職・電話番  
号・メールアドレス  
などの名刺情報
- ※DL可能

## | 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など  
(BANT情報) 等も合わせてご提供

※アイティメディア側で設定のため個別設  
定不可

## | スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲  
載、貴社サイトへのリンクを設定可能

## | 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料  
の配布が可能
- 配布点数：ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロード  
リンクとするほか、貴社の指定外部リン  
クを設定することも可能

## | 開催報告書

- アイティメディアで一般来場者へアン  
ケートを実施 集計結果を開催報告書と  
して会期終了後にご提供
- 個人情報は含まない集計データでの  
ご提供

※画像はイメージです。

# オプションメニュー1

## 貴社セッションmp4動画納品

- セッションありのプランにお申し込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

## セッション収録サポート

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます

料金 **¥180,000~**

## リード情報×主催アンケート回答情報付与

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品
- セミナー閉幕日の3-5営業日後に納品するリード情報に、アンケート回答情報を付与したうえで納品いたします。
- リードフォロー時の参考情報としてお役立てください。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000~**

## 納品リストへのABMデータ追加

- アイティメディアのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

詳細：[go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn](https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn)

料金 **¥200,000**

## リードカスタム納品

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvz>

リード件数によって金額は変動

料金 500件~ **¥100,000~**

## ブランディング施策

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示
- ショート動画の埋め込み
- フローティングバナー情報掲載

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvz>

料金 **¥500,000**

## アフターフォローセミナー

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

¥2,450,000

料金 **¥2,300,000**

## テレマーケティング

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数 50件~
- 期間 3~4週間 (250件の場合)
- 1000件以上は不可

料金 **¥75,000~**

※オプションのみでのお申込みはできません (すべて税別・グロス価格)

## オプションメニュー2

### | セッション動画活用リード獲得

- 講演動画や資料をTechTargetジャパン/キーマンズネットに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性&件数を保証したリード獲得】が可能。

詳細：[go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-14/2czswgv](http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-14/2czswgv)

料金 **¥300,000~**

### | タイアアップ プッシュ ターゲティング & ABM

- 貴社のセッションを基にタイアアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。
- 狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

料金 **¥1,300,000~**

### | DXメディア横断 PV保証タイアアップ

- 貴社のセッションを基にタイアアップ記事を制作
- DX関心層が多くメディア横断でタイアアップ記事へ誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsty>

10,000PV保証 ¥1,900,000  
料金 **¥1,700,000**

### | セッションパンフレット作成 (IT・ビジネス関連)

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ (PDF/x) を納品
- 取材内容はタイアアップ記事広告としてメディアにも掲載
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvn>

料金 **¥1,200,000**

※オプションのみでのお申込みはできません (すべて税別・グロス価格)

# お申込みからの流れ

## 申込締切

2024年9月13日(金)

ご出展意思を担当営業にお伝えください。  
後日弊社より発注書が送付されますので  
**DocuSignにご署名**のうえご返送ください。

## 告知準備

セッションの講演者情報、講演タイトル、貴社ロゴデータ等と合わせてご提出いただき、  
**セッション登録用紙**を事務局へご提出ください。

## 告知開始

2024年10月上旬

事務局にてイベント告知サイトをオープンいたします。  
同時に視聴希望者の事前登録も開始いたします。  
登録・視聴促進の為、**インセンティブ**を使用する場合がございます。

## 開催準備

2024年11月上旬頃

配布資料・視聴者向けセッションアンケート  
設問・動画納品など**講演に関する情報**を事務局  
にご提出ください。

※開催2週間前程度  
開催2営業日前までにレポートサイト情報も  
お送り致します。

## 開催

2024年11月18日(月)～ 11月22日(金)

ライブ講演いただく場合は、事務局よりご案内する時間までに  
アイティメディアのスタジオ受付にお越しください。

## レポート

会期終了3～5営業日以内に**事前申込者リスト**  
をご提出致します。終了後1～2週間程度、  
セッションのアーカイブ配信を行います。  
※予定

**開催報告書**は集計後、別途営業担当よりご提出  
致します。

上記スケジュールは目安であり、状況によって変更になる場合がございます



# ご留意事項

## キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書の取り交わし後のキャンセル  
登録用紙の提出後のキャンセル  
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル : 50%  
開催日40日以内のキャンセル : 100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

## 消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

## 配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

## オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

### リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。  
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

### リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。  
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

### リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。  
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

### リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。  
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

### リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。  
10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。



**LIVE** ITmedia **DX Summit vol.19** ITmedia **エンタープライズ**

**データ活用組織、AI活用組織の作り方**  
～デジタル化を越えて「強い仕組み」を作る技術～

2024 **2/21** [wed] - **22** [thu] **視聴無料**

タイトル	ITmedia DX Summit Vol.19 データ活用組織、AI活用組織の作り方 ～デジタル化を越えて「強い仕組み」を作る技術～
日時	2024年2月21日（水）～2月22日（木） ※2月29日までアーカイブ配信
対象	経営者、経営企画の方、社内情報システム部門の担当役員（CIO）、部長クラス、課長クラスの方、DX推進部門の部門長、リーダー職の方、情報システム部門
主催	ITmedia エンタープライズ
全申込者数	479人
視聴者数	341人
協賛 (※50音順)	Apptio株式会社 ウイングアーク1st株式会社 NTTテクノクロス株式会社 KDDI株式会社 SAS Institute Japan株式会社 株式会社データ・アプリケーション 日本オラクル株式会社 日本テラデータ株式会社 パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社 株式会社日立製作所

# 過去開催実績

# ーデータ基盤/活用ー

# ■申込企業一覧（非IT企業）-

※順不同

※申込時に申込者が選択した「業種」を参考に分類しています

- ADEKA
- BMW Finance
- Cominix
- DNP
- ENEOS
- EPOCH
- ISACA
- JA東日本くみあい飼料
- JFEエンジニアリング
- LIXIL
- MECCS
- MIK Consulting
- MORESCO
- NEC
- NSD
- NTTエレクトロニクス
- R. Hills Innovations
- SARAコーポレーション
- SBS情報システム
- SOMPOシステムズ
- StrategycoreKK
- Syniti
- TDKラムダ
- ToLLRiDe
- TOTOマテリア
- UBE
- UDトラックス
- VirtualTour
- YKK AP
- アイ・エフ・エフ日本
- アイ・シー・ティー・ブレイン
- アイ・ティ・イノベーション
- アイアクト
- アイオイ・システム
- あいおいニッセイ同和損害保険
- アイコム
- アイシン
- アイシン・インフォテックス
- アゴーラホスピタリティーズ
- アシスト
- アステック
- アズビル
- アットキャド
- アドヴィックス
- アドテック
- アドバリスター
- アトリエ Link

- アルテック
- アルバック
- いすゞ自動車
- イワサキ経営
- イワタニインダストリアルガス  
インドネシア
- インターシステムズジャパン
- ウェルネス・コミュニケーションズ
- エイ・ビー・エム
- エイト日本技術開発
- エスピーオー
- エム・シー・ヘルスケア
- オムロン
- オリパス
- オルタス
- かえるエージェント
- カネヨ運輸
- キーエンス
- キヤノンシステムアンドサポート
- きんでん
- クネット
- クボタ
- グリッドスケール
- ケイシイシイ
- ゲンキー
- コニカミノルタジャパン
- コベルコ建機
- サントリープロダクツ
- ジェイアール東日本企画
- ジャックス
- セイコーエプソン
- セレブリックス
- ソイルアンドロックEng
- ソディック
- ダイキアクシス
- ダイハツ工業
- ダイヤモンド・リテイルメディア
- タカハシ商店
- タチバナテクノス
- デロイトトーマツコンサルティング
- デンソーテン
- トーホー
- トヨタ自動車
- トヨタ紡織
- トレノケート
- ナブアシスト
- なんつね

- ニコン
- ニチコン大野第三工場
- ネットワークコーポレーション
- ハイ・アベイラビリティ・システムズ
- パソナ
- パナソニック
- パナソニック SFS
- パナソニック住宅設備
- ハピネット
- パワーラボ
- ビークルエナジージャパン
- ビズネット
- ファーマみらい
- ファイテン
- ファインネクス
- ファンベースカンパニー
- フジモトHD
- ブラザー工業
- ブリヂストン
- ベルソニカ
- マカフィー
- マツキヨココカラ&カンパニー
- マネックス証券
- マブチモーター
- みずほ証券
- ミネベアミツミ
- メディアデザイン
- メディエーター
- メディパルホールディングス
- モアソフト
- モデュレックス
- ヤクルト本社
- ヤマダホールディングス
- ヤマハ
- ヤマハ発動機
- ヤング産業
- ユニ・チャーム
- ゆびすい会計システム
- ヨコクラ病院
- リコー
- リコージャパン
- リンクアンドモチベーション
- ローム
- ワイテック
- 愛三工業
- 愛知
- 愛知産業

- 旭化成エンジニアリング
- 伊勢化学工業
- 一般財団法人 電気通信端末機器審査協会
- 一般財団法人次世代環境船舶開発センター
- 横河レンタ・リース
- 横森製作所
- 加藤文明社印刷所
- 花王
- 霞ヶ橋管理
- 学技法人関西医科大学
- 学校法人聖和学園
- 関電エネルギーソリューション
- 関電システムズ
- 岸田知博法律事務所
- 岩田合同法律事務所
- 京葉ガス
- 協和キリン
- 興和
- 金沢村田製作所
- 金融情報システムセンター
- 熊谷組
- 群馬県産業支援機構
- 恵寿総合病院
- 戸田建設
- 国立情報学研究所
- 済生会熊本病院
- 三井住友カード
- 三英堂事務機
- 三原赤十字病院
- 三菱ケミカル
- 三菱マテリアルテクノ
- 三菱商事ロジスティクス
- 三菱電機
- 三菱電機ソフトウェア
- 山九
- 山口商会
- 山崎製パン
- 山三コンサルタンツ
- 山洋電気
- 産業経済新聞社
- 鹿島建設
- 就労チームグリーン
- 住友重機械工業
- 住友生命
- 住友精化

- 小松製作所
- 松江工業高等専門学校
- 障がい者ワークステーションラボ
- 新コスモス電機
- 新宿未来創造財団
- 新城市立舟着小学校
- 新川電機
- 深井製作所
- 仁生会西堀病院
- 生和コーポレーション
- 西川ゴム工業
- 積水化学工業
- 川崎重工業
- 船井総研ホールディングス
- 銭高組
- 全日警
- 全日本空輸
- 双日
- 損害保険料率算出機構
- 大王パッケージ
- 大協精工
- 大阪市教育委員会大阪市立大開小学校
- 大日本住友製薬
- 大林ファシリティーズ
- 大和証券
- 大和大学
- 第一工業
- 地方共同法人日本下水道事業団
- 竹中工務店
- 中外テクノス
- 中国経済連合会
- 田中建設
- 電業社機械製作所
- 都建材工業
- 土地家屋調査士内山啓事務所
- 島貿易
- 東芝
- 東芝ソリューション
- 東芝デバイス&ストレージ
- 東洋コミュニティサービス
- 藤田金属
- 日東電工
- 日本アイ・ビー・エム
- 日本アイ・ビー・エム デジタルサービス
- 日本エネルギーコンポーネンツ
- 日本オラクル
- 日本カーバイド工業

- 日本ダイレックス
- 日本テラデータ
- 日本ネットワークサポート
- 日本ベクトン・ディッキンソン
- 日本加除出版
- 日本私立学校振興・共済事業団
- 日本調剤
- 日本電技
- 日本電産
- 日本特殊陶業
- 日本郵船
- 日立インダストリアルプロダクツ
- 日立エルジーデータストレージ
- 日立社会情報サービス
- 日立製作所
- 飛鳥建設
- 稗田裕規写真事務所
- 不二製油
- 富士フイルムビジネスイノベーション  
ジャパン
- 富士通
- 富士電機
- 富士電子工業
- 文藝春秋
- 平福電機製作所
- 平和堂
- 片山化学工業研究所
- 法円坂メディカル
- 豊生ブレーキ工業
- 豊田合成
- 北海電気工事
- 北日本重機
- 堀川産業
- 名古屋鉄道健康保険組合
- 明電舎
- 矢崎総業
- 友鉄工業
- 理経
- 理想科学工業
- 林建材店
- 練馬総合病院

## 過去開催実績

## ーデータ基盤/活用ー

## ■申込企業一覧（IT企業）

※順不同

※申込時に申込者が選択した「業種」を参考に分類しています

- Appier Japan
- Baseconnect
- BIPROGY
- CTCシステムマネジメント
- CTCテクノロジー
- Dassault Systemes
- Databricks Japan
- HNコンサルティング
- IJグローバルソリューションズ
- JCOM
- JR東日本情報システム
- JSOL
- K4Digital
- KDDI
- KDDI総合研究所
- KKCompany Japan
- Kyotoビジネスデザインラボ
- Libera
- Liverally.net
- N.ジェン
- NEC
- NECソリューションイノベータ
- NECネッツエスアイ
- NTTコミュニケーションズ
- NTTコムオンライン・マーケティング・ソリューション
- NTTデータ・アイ
- NTTデータMSE
- NTTデータスミス
- NTTデータセキスイシステムズ
- NTTデータ東海
- NTTテクノクロス
- PCサポートAKI
- PRADiA
- Quollio Technologies
- SAS Institute Japan
- SBエンジニアリング
- Scalar
- SCSK
- TIS西日本
- UTA Institute
- weave
- ZUU
- アイ・シー・エス
- アイシーエス
- アイティ・コーチ
- アイテックス

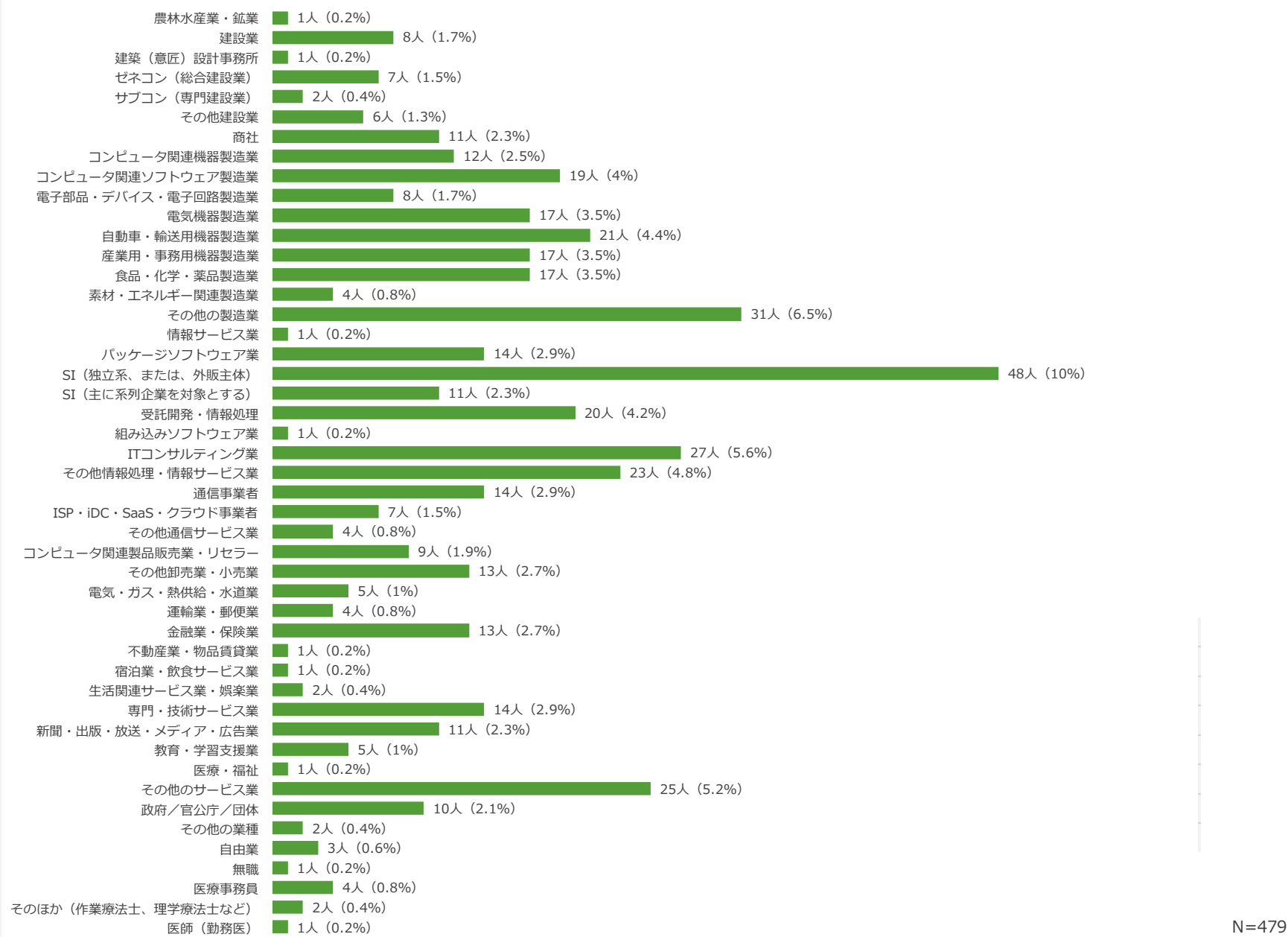
- アイレット
- アクモス
- アグレックス
- アシスト
- アルファテック・ソリューションズ
- イーサポートリンク
- インゲート
- インサイト
- インデックスプロ社
- ウイズシステム
- エクサ
- エスアールエムテクノロジーズプライベートリミテッド
- エヌ・ティ・ティ・データ先端技術
- カコムス
- キーウェアソリューションズ
- キーウェア西日本
- キヤノンITソリューションズ
- クエスト
- コミュニケーション・アライアンス
- シー・キューブド・アイ・システムズ
- システムズナカシマ
- ジャストシステム
- シンシア
- ソフトバンク
- ティアイエス
- ディンプス
- デジタル未来工房
- テブコシステムズ
- トヨタシステムズ
- トランス・コスモス
- トリニティコアシステム
- ニシム電子工業
- パンフィックシステム
- パンフィックビジネスコンサルティング
- パナソニックインフォメーションシステムズ
- ビジュアルテクノロジー
- ビジョン・コンサルティング
- フューチャーアーキテクト
- フューチャースピリッツ
- フラット
- プロアクション
- プロアシスト
- フロンティアプロスパー
- ベイ・コミュニケーションズ
- ベニックソリューション
- ヤンマー情報システムサービス

- ユーザックシステム
- ユニアデックス
- ラモテクノロジー
- ランドコンピュータ
- リコーITソリューションズ
- リコージャパン
- ロジックコンサルティング
- ワイ・ディ・シー
- ワイアードビズコム
- ワイテック
- ワイドテック
- 伊藤忠テクノソリューションズ
- 楽天
- 楽天グループ
- 関西テレビソフトウェア
- 三菱電機インフォメーションネットワーク
- 住理工情報システム
- 中山データベース
- 張Inc
- 電通
- 東芝インフォメーションシステムズ
- 東芝デジタルソリューションズ
- 日商エレクトロニクス
- 日本アイ・ビー・エム
- 日本オラクル
- 日本ダイレックス
- 日本タタ・コンサルタンシー・サービスズ
- 日本テラデータ
- 日本ヒューレット・パッカート
- 日本事務開発
- 日本事務器
- 日本情報通信
- 日立システムズ
- 日立ソリューションズ西日本

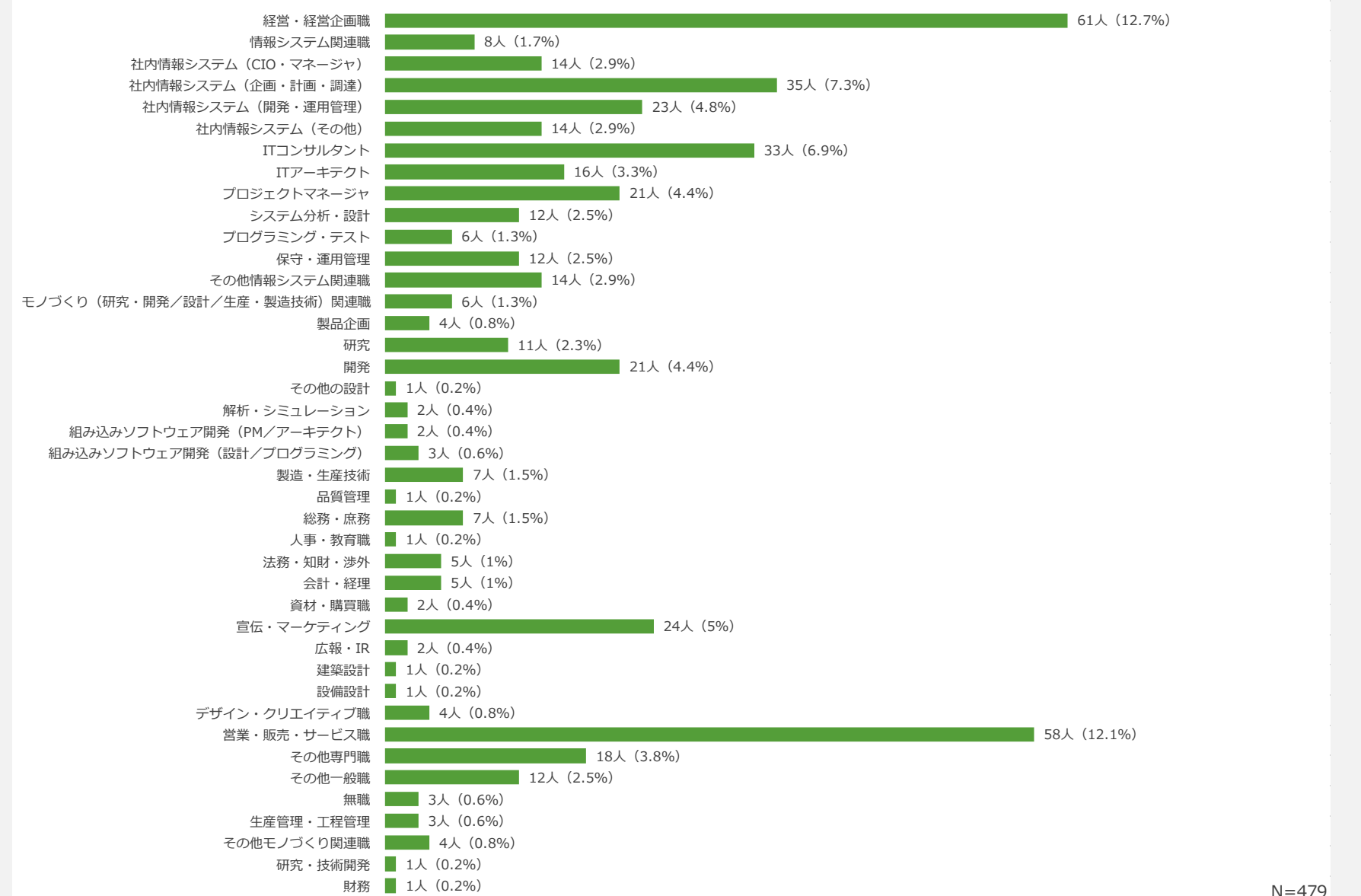
# 過去開催実績

# －データ基盤/活用－

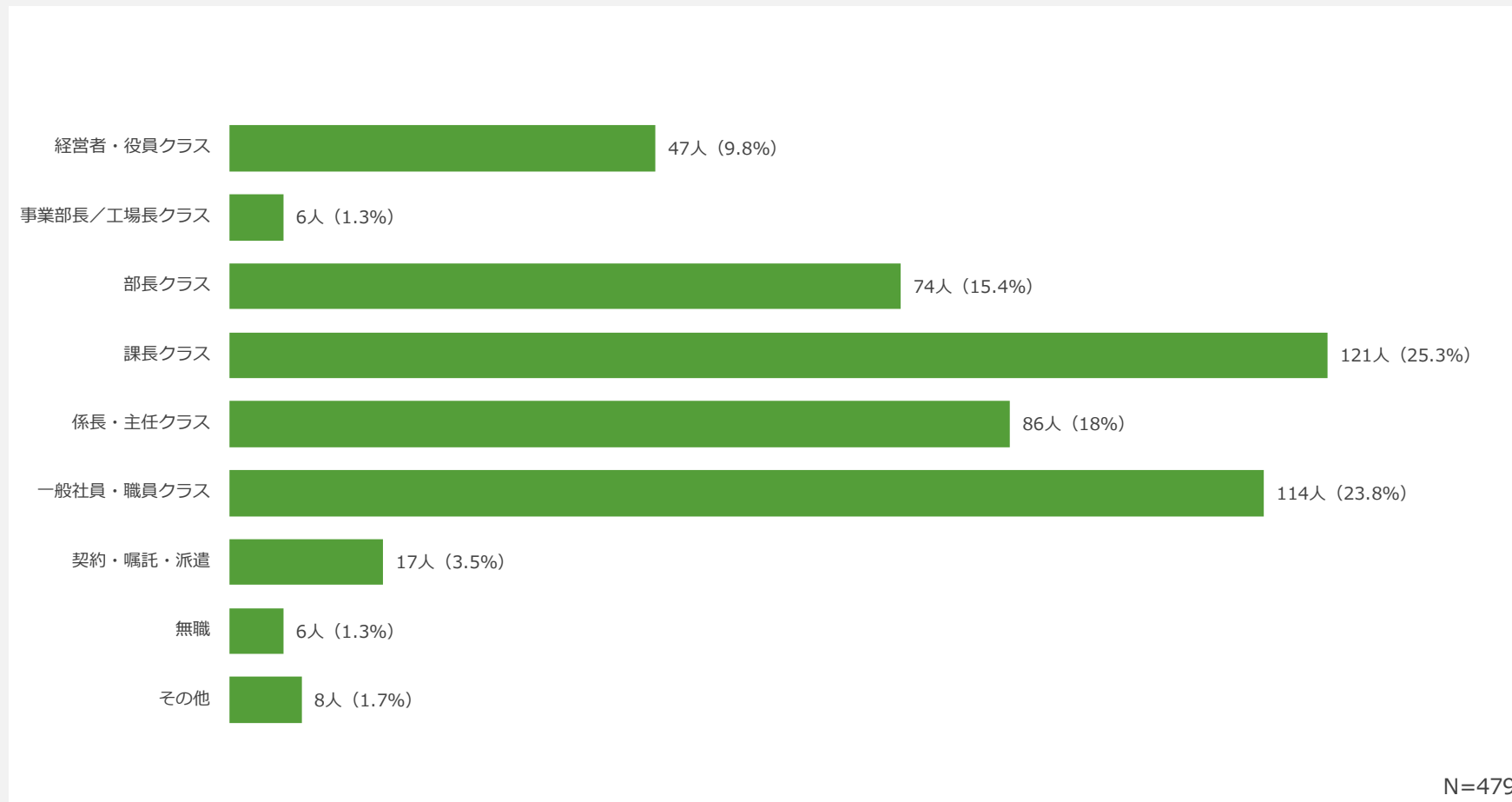
## 業種



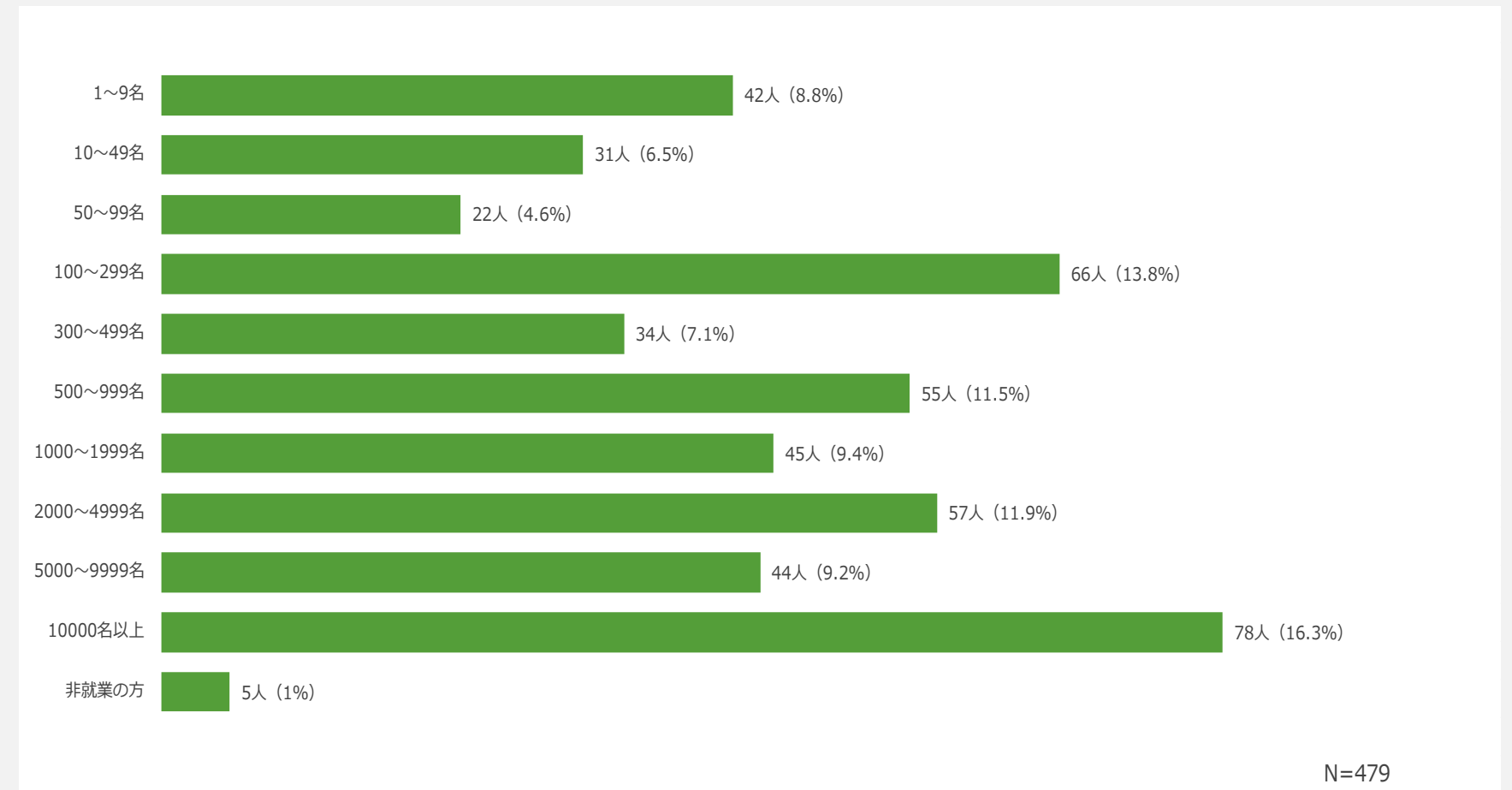
## 職種



### 役職



### 従業員規模





タイトル	ITmedia DX Summit Vol.19 ランサムウェアに屈しないためのバックアップ
日時	2024年3月15日（金）13:00～14:20 ※3月25日までアーカイブ配信
対象	経営者、経営企画の方、社内情報システムの運用・方針策定 をする立場の方、企業情報システム部門の企画担当者、 運用管理者、Sler など
主催	ITmedia エンタープライズ
全申込者数	342人
視聴者数	239人
協賛 (※50音順)	arcserve Japan合同会社 株式会社セールスフォース・ジャパン 株式会社Box Japan

## 過去開催実績

## – ITmedia DX Summit vol.19 バックアップ –

## ■ 申込企業一覧（非IT企業） -

※順不同

※申込時に申込者が選択した「業種」を参考に分類しています

- ALAW&GOODLOOP
- BSIグループジャパン
- EIZO
- GMOクリック証券
- Honeywell Analytics
- LSIメディアエンス
- MS&ADインシュアランスグループホールディングス
- NHKテクノロジーズ
- NSK富山
- OFFICE-K
- ORINAS
- SMBCファイナンスサービス
- TBK
- TMES
- TOKAIホールディングス
- YE DIGITAL
- アゴーラホスピタリティーズ
- アサヒグループ食品
- イオンフィナンシャルサービス
- いすゞ自動車
- イノアックコーポレーション
- インテリジェンツ
- ウィズテック
- ウェルネス・コミュニケーションズ
- エス・ピー・シー
- エヌ・エイチ・ケイ・アート
- エフエム福岡
- エブリイ
- エム・システム技研
- エルエヌジージャパン
- おひさまエナジーステーション
- オリンパス
- カワムラ
- キヤノン
- キヤノンITSメディカル
- キヤノンマシナリー
- きんでん
- クアーズテック
- クロスウィズユー
- コセキ
- サニーヘルス
- シーキューブ
- ジェイマックスシステム
- シスメックス
- セキュアブレイン
- セツルメント菊坂診療所
- セブン-イレブン・ジャパン
- ソディック
- ソニーマーケティング
- ソニックウォール・ジャパン
- ダイコーIWS
- ダイフク
- ちゅうでん
- ティーメディアクス
- テクノUMG
- テリロジー
- デル・テクノロジーズ
- デンソー
- トモエシステム
- トヨタテクニカルディベロップメント
- トヨタ自動車東日本
- ニシム電子工業
- パーソルAVCテクノロジー
- はせがわ
- バルク
- ビジネスコーチ
- ビジネスコンサルタント
- ビジュアルソフト
- ビューテック
- プラネット
- ブルーミング中西
- ブレイヴコンピュータ
- ブレンストームワールドワイド
- プレス
- ベル・データ
- ベルソニカ
- ハウライ
- ポッシュ
- ポトスセミコンダクタ
- マツキヨココカラ&カンパニー
- マツダオートリース
- マルホ
- ミシマックス
- ミントウェーブ
- ヤマシナ
- ヤマハ
- ヤマハモーター精密部品製造
- ヤマハ発動機
- ユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン
- リコージャパン
- リンクウィズ
- ロート製薬
- 愛三工業
- 愛知
- 旭化成メディカル
- 医療生協さいたま生活協同組合
- 永廣堂本店
- 英光堂
- 岡村一心堂病院
- 華為技術日本
- 会計検査院
- 外務省
- 岩手医科大学
- 輝生会
- 牛尾内科医院
- 京写
- 京都トヨペット
- 協和テクノロジーズ
- 橋本行政書士事務所
- 興国インテック
- 桐葉会木島病院
- 九州旅客鉄道
- 慶應義塾大学病院
- 公立岩瀬病院
- 香川医療生活協同組合
- 済生会熊本病院
- 三井ハイテック
- 三井住友トラスト・アセットマネジメント
- 三新
- 三菱電機 電力システム製作所
- 三國製菓工業
- 四電工
- 自動車事故対策機構
- 若洲
- 秀和会ファミリークリニックこころ
- 住ベ情報システム
- 住友精化
- 住友電気工業
- 住友電設
- 小野薬品工業
- 上市社会保険労務士事務所
- 信貴山病院
- 神戸市立医療センター中央市民病院
- 清和会長田病院
- 清和海運
- 西日本新聞プロダクツ
- 西菱電機
- 静岡鉄道
- 石井クリニック
- 積水化学工業
- 専修大学
- 泉
- 倉石地域振興財団栗田病院
- 泰玄会西病院
- 大黒天物産
- 大塚商会
- 大和ハウスフィナンシャル
- 第一ビューテック
- 中央カレッジグループ
- 中央情報専門学校
- 中小企業振興公社
- 中日本高速道路
- 長崎船舶装備
- 長沼
- 電子航法研究所
- 島根県立中央病院
- 東京ホームスクーリング研究会
- 東京大学
- 東芝ナノアナリシス
- 東洋コミュニティサービス
- 東陽
- 内外ゴム
- 内田洋行
- 南海電気鉄道
- 南国殖産
- 日テレ・テクニカル・リソーシズ
- 日軽パネルシステム
- 日新技研
- 日鉄ステンレスアート
- 日本アイ・ビー・エム
- 日本オラクルインフォメーションシステムズ
- 日本システム
- 日本ジョン・クレーン
- 日本穀物検定協会
- 日本自動車連盟
- 日本赤十字社伊勢赤十字病院
- 日本電気
- 日本電通
- 日本貿易保険
- 日本防犯設備協会
- 日本郵政コーポレートサービス
- 日本郵船
- 日立化成
- 日立情報通信エンジニアリング
- 日立造船
- 農協共済中伊豆リハビリテーションセンター
- 富士フィルムメディカル
- 富士港運
- 富士通Japan
- 福岡県工業技術センター 機械電子研究所
- 福田ブロイラー
- 物質・材料研究機構
- 兵庫県災害医療センター
- 平安キャノン事務機
- 平和堂
- 北海道富士電機
- 北斗会 宇都宮東病院
- 北陸保険補償
- 本田技術研究所
- 名古屋鉄道健康保険組合
- 明石こころのホスピタル
- 明電システムソリューション
- 野村コンサルティングオフィス
- 禄寿会
- 雙設備研究所
- 昴



## 過去開催実績

## －ITmedia DX Summit vol.19 バックアップ－

## ■ 申込企業一覧（IT企業） -

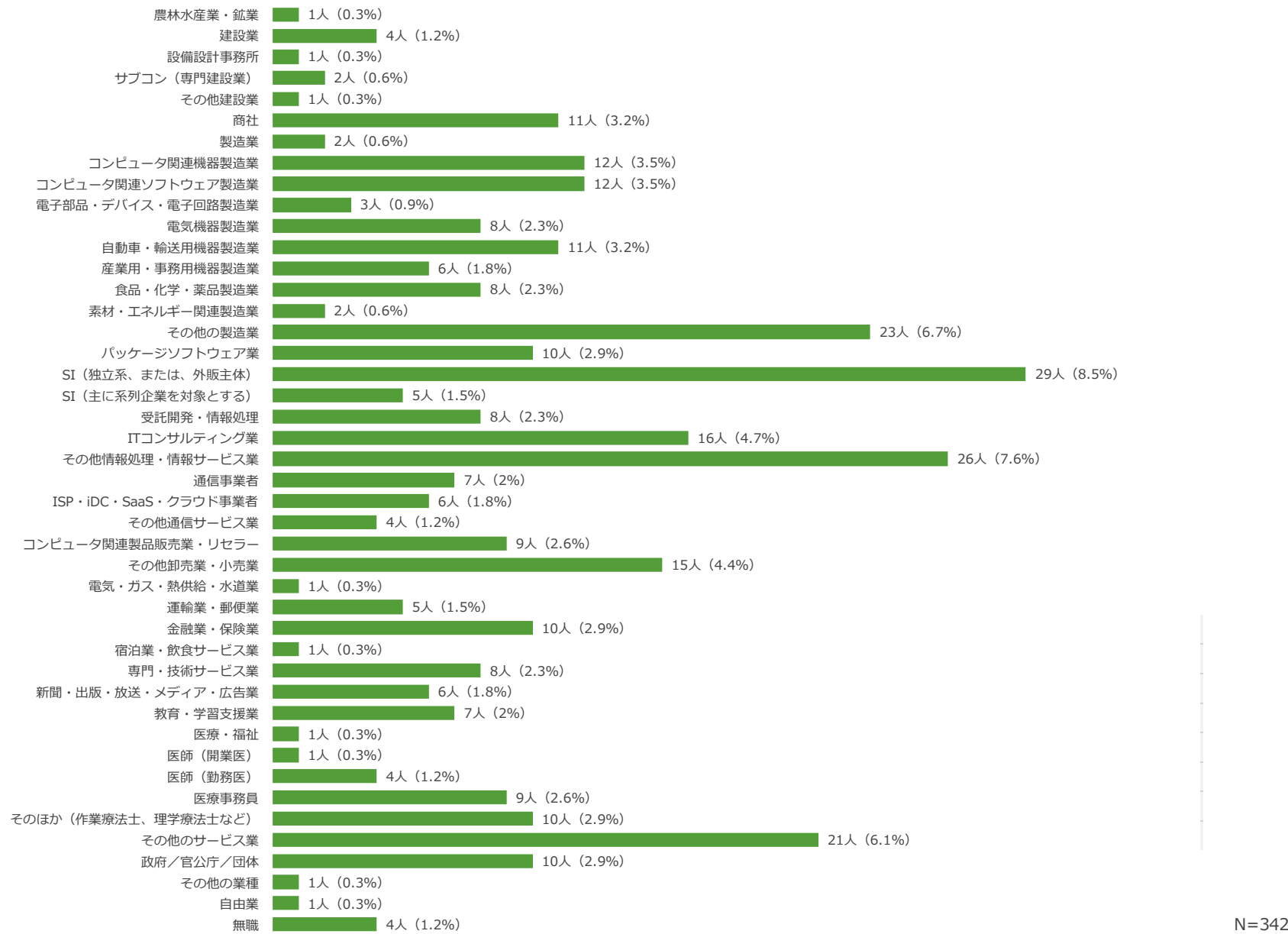
※順不同

※申込時に申込者が選択した「業種」を参考に分類しています

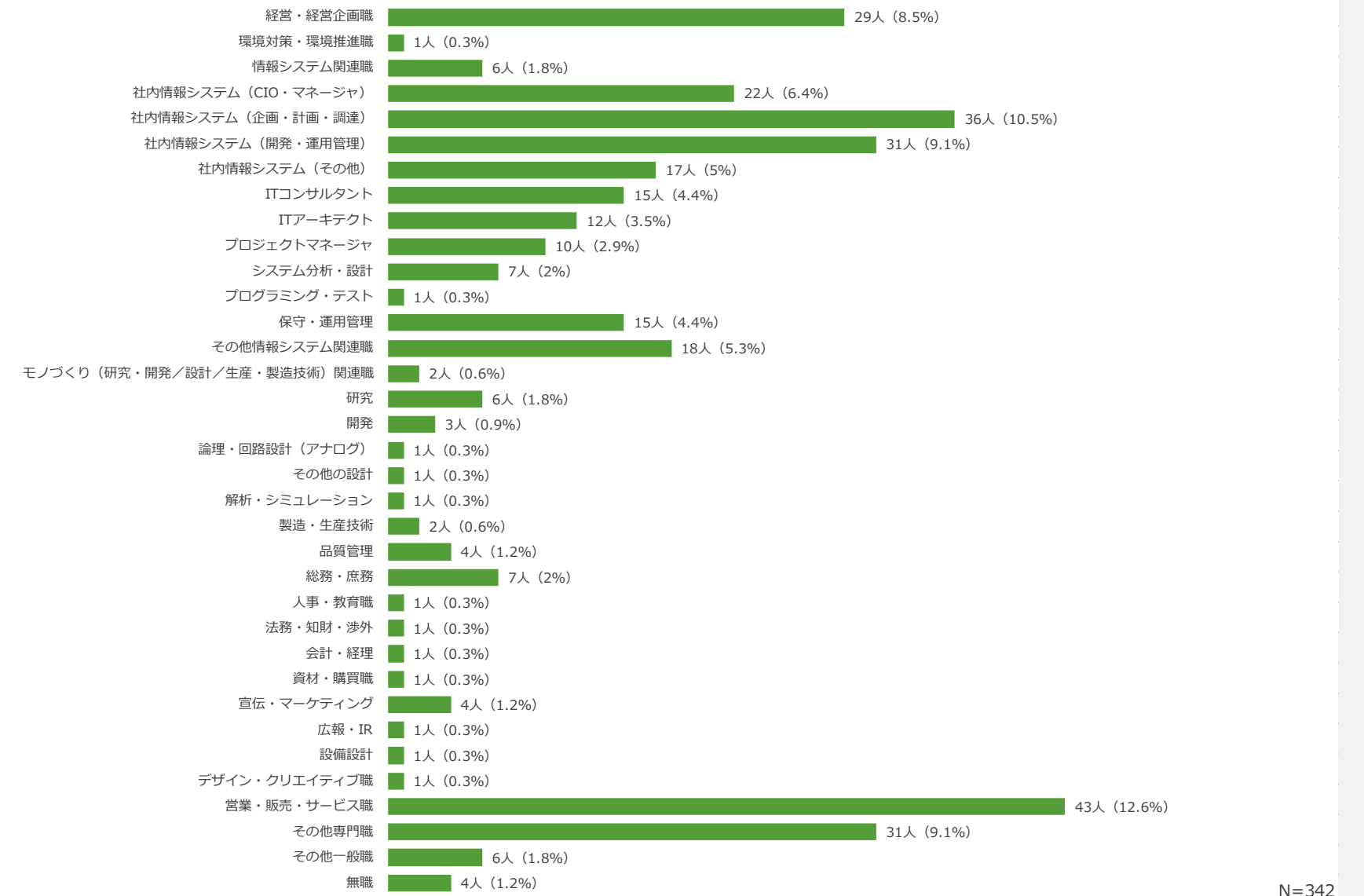
- AGEST
- AGS
- arcserve Japan
- BCC
- deratege.com
- IJグローバルソリューションズ
- Innovative Technologies
- ITC
- JA群馬電算センター
- KIS
- KSK
- NECソリューションイノベータ
- NTTコミュニケーションズ
- NTTデータカスタマサービス
- NTTドコモ
- NTTネオメイト
- NTTビジネスソリューションズ
- Office Infosky
- Q'sfix
- Remoteo One
- Rubrik Japan
- SOMPOリスクマネジメント
- Tクオリティ
- TAKE国際技術士研究所
- アイ・アクレディットITGコンサルティング東京事務所
- アイエーネットワーク
- アイエスネットワーク
- アイネット
- アクトシステムズ
- アシスト
- アットマーク宮崎
- イージェーワークス
- イセト
- インターネットイニシアティブ
- インテリジェントウェイブ
- ウエスト
- ウチダエスコ
- エイチ・シー・ネットワークス
- エースシステムズ
- エムアンドエイチ
- ガイア
- キヤノンITソリューションズ
- グローバルセキュリティエキスパート
- コスモ・メディカル・システム
- サラビジネスソリューションズ
- サイバーソリューションズ
- サンデンシステムエンジニアリング
- シーイーシー
- システナ
- システム・クリエイト
- シンシア
- シンポー情報システム
- セイコーシステムエンジニアリング
- ソフトクリエイト
- ソフトバンク
- ソリトンシステムズ
- チャネマ
- テクノブレイブ
- デジアイズ
- テック情報
- デロイトトーマツサイバー
- トーテックアメニティ
- ハイテックス
- ピーティーエス・ジャパン
- ブリッジインターナショナル
- ベネックスソリューションズ
- ベリサーブ
- ほくつう富山支社
- みずほリサーチ&テクノロジーズ
- ミトラ
- メディカルマネジメント松沢
- ヤンマー情報システムサービス
- ラック
- ランドエッジ
- 伊藤忠テクノソリューションズ
- 三越伊勢丹システム・ソリューションズ
- 三菱電機インフォメーションシステムズ
- 社会福祉法人三篠会
- 西鉄情報システム
- 西日本電信電話
- 西部電気工業
- 大和総研
- 都築電気
- 東京海上日動リスクコンサルティング
- 東芝デジタルエンジニアリング
- 東芝デジタルソリューションズ
- 日永インターナショナル
- 日本コントロールシステム
- 日本ユニシス
- 日本総研情報サービス
- 日立システムズ

- 日立ソリューションズ・クリエイト
- 富士ゼロックス福岡
- 福生会斎藤労災病院

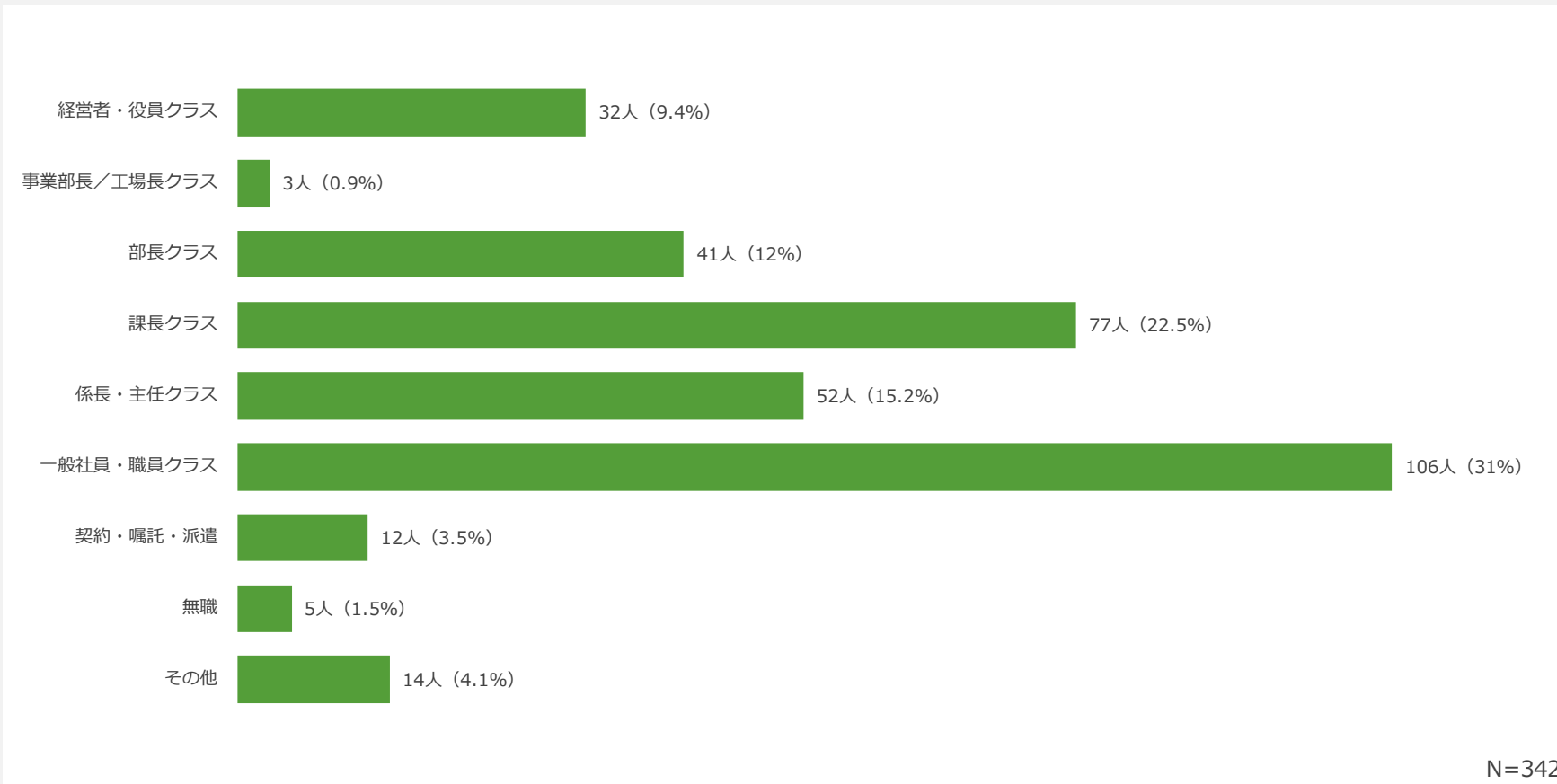
## 業種



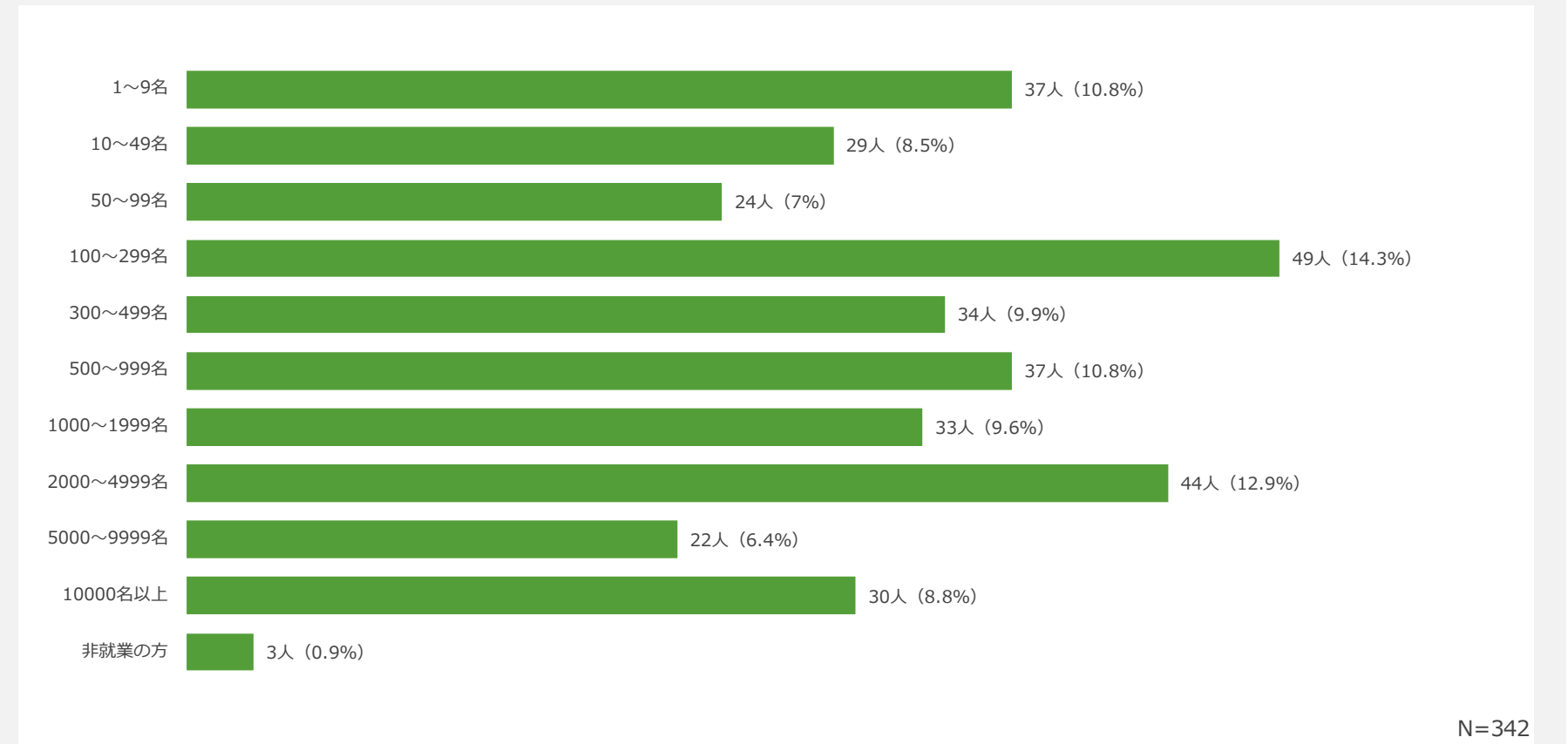
## 職種



役職



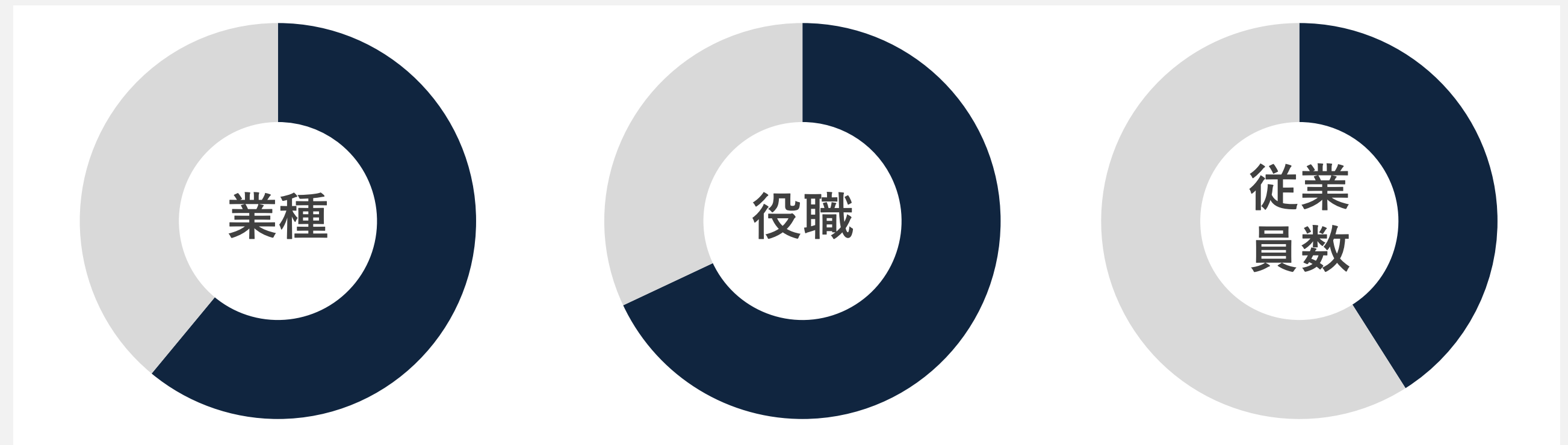
従業員規模



# ITによってビジネスを革新するビジネスリーダー向け実践情報サイト



- 媒体名 ITmedia エンタープライズ
- URL <https://www.itmedia.co.jp/enterprise/>
- PV 約122万 PV/月 約73万 UB/月 ※2024年2月実績
- メルマガ配信数 約24万通



ユーザー企業 約**61%**  
 主な内訳：製造業37.9%, 商社・流通・サービス業27%

係長クラス以上 約**68%**  
 主な内訳：課長クラス23.8%, 部長クラス14.6%

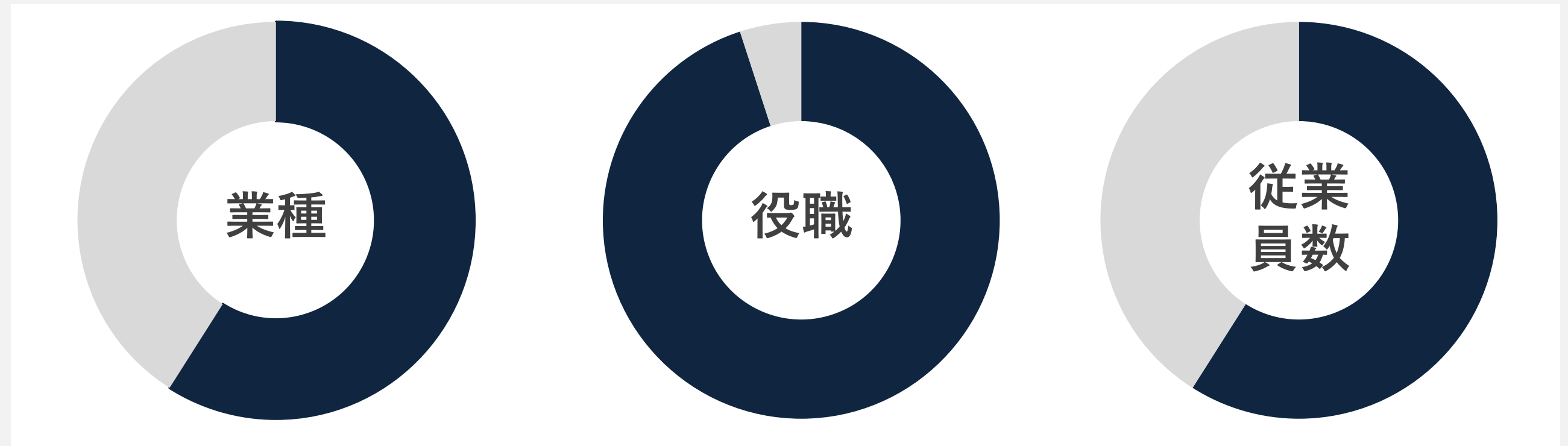
1000人以上 約**41%**  
 主な内訳：1000人～5000人未満20.3%, 5000人以上20.6%

# 企業の明日を変えるエグゼクティブとCIOのためのコミュニティー



- 媒体名
- URL
- PV
- 年齢層

ITmedia エグゼクティブ  
<https://mag.executive.itmedia.co.jp/>  
 約2430万 PV/月 約830万 UB/月 ※2024年2月実績  
 40-50代ボリュームゾーン



ユーザー企業 約**59%**  
 主な内訳：製造業45%, IT関連業41%

課長クラス以上 約**95%**  
 主な内訳：部長クラス以上52%, 課長クラス以上95%

1000人以上 約**59%**  
 主な内訳：1001~5000人25.5%, 10001人以上23%

メールでのお問い合わせ

mail : [sales@ml.itmedia.co.jp](mailto:sales@ml.itmedia.co.jp)

アイティメディア株式会社 営業本部

デジタルイベントの最新情報はこちら  
<https://promotion.itmedia.co.jp/plan>